

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 内田 章子		
健福-16	実施事業	高齢者福祉運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	高齢者等
意図	地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。
効果	地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。 ・福祉有償運送事業に関する事務を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	568	457	当初予算(千円)	3,101		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	568	457	一般財源	3,101		
事業経費運営	人員配置数	0.4	0.4	人員配置数	0.2		
	人件費(千円)	3,169	3,161	人件費(千円)	1,588		
	総事業費(千円)	3,737	3,618	総事業費(千円)	4,689		
	市民1人当りの経費(円)	21	21	市民1人当りの経費(円)	27		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	高齢者保健福祉計画は、3年を1期として策定することが法律により定められているため、今後も継続して事業を行う必要がある。そのために必要な予算を確保し適切に執行する。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する					

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>高齢者保健福祉計画は、老人福祉法及び介護保険法により策定が義務付けられており、超高齢社会となっている本市では高齢者が生きがいを持った生活を送れるよう、健康づくりや介護予防事業の推進など、進行管理を行い適正に執行した。</p> <p>また、権利擁護や地域における生きがいづくり、見守り支え合いの地域づくりを支援し住み慣れたまちで、健康にいきいきと過ごし安心して暮らし続けられるようなまちづくりの一助となっている。</p>
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	新たな計画期間(平成30年度～平成32年度)の鎌倉市高齢者保健福祉計画を進行管理する。市民アンケートの分析等を活用し、市民の意向及び国・県の動向を踏まえ計画を推進していく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	市民委員を含む外部委員からなる鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会を開催し、平成29年度分の実績報告を行うとともに、高齢者保健福祉計画の進行管理及び評価を行った。評価にあたっては、評価の方法を再検討した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	新たな計画期間(令和3年～令和6年度)に向けた基礎調査を実施する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	65歳以上人口及び65以上高齢化率(平成30年1月1日現在)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市		
他市実績	53,955人	123,854人	70,004人	18,150人	104,320人	62,500人		
	30.6%	31.1%	27.3%	31.7%	24.3%	26.0%		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市同様、本市も高齢化率は高い水準であり、高齢者保健福祉計画の重要性は増している。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	特別養護老人ホーム定員数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
計画的整備の達成状況の把握	目標値	663	693	773	863	789	879			
	実績値	663	673	693	773	789				
	達成率	100.0%	97.1%	89.7%	89.6%	100.0%				

指標の内容	認知症高齢者グループホーム定員数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
計画的整備の達成状況の把握	目標値	187.0	187.0	205.0	223.0	207.0	252.0			
	実績値	187.0	187.0	187.0	187.0	207.0				
	達成率	100.0%	100.0%	91.2%	83.9%	100.0%				

指標の内容	小規模多機能型居宅介護事業所数					単位	事業所数	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
計画的整備の達成状況の把握	目標値	6.0	6.0	7.0	8.0	6.0	7.0			
	実績値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0				
	達成率	100.0%	100.0%	85.7%	75.0%	100.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	鎌倉市高齢者保健福祉計画に定める目標を達成するよう、施設整備を行っていく。
-----------------------	---------------------------------------